# JavaScriptで遊ぶサウンドとUXの現在

株式会社ムーブメント

熊谷 淳

### 自己紹介





株式会社ムーブメント 熊谷 淳 / Jun Kumagai

- ここから徒歩 5 分くらいの事務所で WEB 制作
- 少し前は Flash 職人
- 最近は PHP と JS を半々くらいで

# 内容



● WEB とサウンドの現状

• HTMLAudioElement と Web Audio API について

## WEB とサウンドの現状



いろいろありますが、とりあえず

# WEBとサウンドの現状



Flash が使えない

## WEBとサウンドの現状



でも、できれば今後もサウンドうまく使いたい

### 現状取りうる手法



HTMLAudioElement

HTML5 で追加された <AUDIO> タグ 簡便 ブラウザ対応 IE9+

Web Audio API

より多機能な仕様 少し複雑

ブラウザ対応 IE ダメ

ただし日々改善

# HTMLAudioElement



#### **HTMLAudioElement**



• JavaScript で書くならば

var audio = new Audio();

のようにインスタンス化できる

メソッド

- load()
- play()
- pause() etc.

プロパティ

- currentTime
- volume
- loop etc.

イベント

• canplay etc.

#### **HTMLAudioElement**



● とりあえず音を出す JS

```
var audio = new Audio();
audio.src = "sample.mp3";
audio.play();
```

簡単、ただしスマホでは制約も volume が制御できない (iOS) など



#### HTMLAudioElement まとめ



- 簡単に導入できるが、機能はシンプル
- スマホ端末では特に制約が多い
- 対応ブラウザは多い



# Web Audio API



### Web Audio API の特徴



かなり高度なオーディオ処理やコントロールが可能 音程をつけたり、楽器のような使い方も可能

● スマホにおける AudioElement での制限をある程度回避可能

# Web Audio API



● とりあえず音を出す JS

#### Web Audio API



#### ● とりあえず音を出す JS

```
window.AudioContext = window.AudioContext || window.webkitAudioContext;
var context = new AudioContext();
var request = new XMLHttpRequest();
request.open('GET', 'audio/sample.mp3', true);
request.responseType = 'arraybuffer';
request.onload = function() {
 context.decodeAudioData(request.response, function(buffer) {
   var source = context.createBufferSource();
   source.buffer = buffer;
   source.connect(context.destination);
   source.start(0);
 });
};
request.send();
```

#### 結構、記述が多い

# Web Audio API の構造



#### AudioContext



#### Web Audio API まとめ



- 複雑だが、高度な機能を扱える
- ブラウザ対応は進行中で、今後の見込みはありそう



#### まとめ



- 対応環境の問題もあるが、現状でできることもいろいろあり、 また状況も良くなっている。
- API を直接操作する他にも、sound.js や 他のライブラリを使ったアプローチもあり、選択肢は多い

遊んでみて、面白いものを作って前例にしていきましょう

## おまけ





Web から離れますが、 JavaScript で音楽するなら

CYCLING '74 MAX

はおすすめです。

ありがとうございました。